

恋愛と縁結びの神様

Lover's Sanctuary
恋人の聖地

織姫と牽牛の七夕物語が根付く街

地元では親しみを込めて「たなばたさん」と呼ばれている七夕神社。正式には、媛社(ひめこそ)神社といい、その歴史は古く八世紀頃の「肥前国風土記(730年頃)」にも記述されているほどです。

その七夕神社には、媛社神(ひめこそのかみ)と織女神(しょくじょしん)が祀られており、織女神は機織りの技術を身につけた方であると言い伝えられています。古代では、布を織る仕事は女性にとっても重要な仕事であったことから、女性の信仰を集めた神であると伝えられています。



織女神



犬飼神



七夕神社の夏祭り

七夕神社では毎年8月7日に夏祭りが行われます。境内には全国各地から届けられた多数の短冊が飾り付けられます。出店や演芸も催され、とてもにぎわいます。

恋人の聖地おごおり

七夕の物語のように、宝満川を天の川に見立て、織女(七夕神社)と牽牛(牽牛社)を配する昔の人の信仰のロマンが息づく、七夕神社とその周辺地域は、平成25年10月、恋人の聖地プロジェクトを展開するNPO法人地域活性化支援センターにより、プロポーズにふさわしいロマンティックなスポットとして「恋人の聖地」に選定されました。



老松宮(牽牛社)

稲吉の氏神である老松宮には、犬飼神が合祀されています。犬飼は七夕伝承の牽牛(彦星)のこととされています。かつては、老松宮の近くにあった牽牛社に祀られていましたが、水害や周辺の圃場(ほじょう)整備のために老松宮に移りました。



恋人の聖地スポット 小郡市内に散らばる縁結びスポットをめぐってみよう



如意輪寺(にょいりんじ)

「かえる寺」の愛称で有名な如意輪寺。境内の中では、かえるの七福神や壁画等、大小様々なかえるが出迎えてくれ、その数はなんと5,000体以上になります。また、桜やあじさい、新緑、紅葉など季節ごとの楽しみがあり、特に毎年夏に開催される風鈴まつりの時期には、境内に願い事を書いた風鈴が飾られ、とても美しい景色が広がります。



風鈴まつり



愛染明王 (あいぜんみょうおう)



きらめきの塔

きらめきの塔は、「七夕の里おごおり」を象徴するモニュメントとして、平成3年7月に建てられ夜になるとイルミネーションが美しく輝き、小郡市の玄関である西鉄小郡駅を明るく彩ります。



小郡運動公園

オリンピック規格の野球場や2種公認の陸上競技場、通年ナイター営業のテニスコート等充実の施設だけではなく、多目的広場やアスレチック広場など気軽に遊べるスポットも揃う運動公園。

公園内には、道路を挟んで両側に座る織姫と牽牛の像や噴水があります。



日吉神社の夫婦銀杏



織姫と牽牛をつなぐ稲吉橋

観光大使 オリリン★ヒコリン



小郡市の観光大使をつとめる、恋愛成就キャラクターの「オリリン」と「ヒコリン」。2人は小郡市を舞台にした創作物語「新・七夕伝説」の登場人物として生まれ、名前は七夕の織姫と彦星にちなんで名づけられました。毎日、七夕伝説の里「小郡」の魅力を紹介するために、そしてみんなの願いを叶えたいという気持ちで応援するために頑張っています。

おごおりの味

お土産にも喜ばれる 小郡の名産品



鴨料理

小郡市は、江戸時代には有馬藩の御用猟場、明治以後も鴨の狩猟場として保護されてきた歴史があります。皇室に献上されたこともある、小郡名物の「鴨料理」。味の贅を、心ゆくまでお楽しみください。



珈琲まんじゅう「傍ら」

小郡出身の詩人・野田宇太郎が大の珈琲好きだったことにちなんだお菓子で、AGF「コーヒーを用いた和菓子のコンテスト」でグランプリを受賞した、御菓子処やかべ人気の一品。



小郡の地酒

市内唯一の醸造所、森山酒造で100年前から作り続けられているお酒です。